

# いわて生衛だより

編集・発行  
 (公財)岩手県生活衛生  
 営業指導センター  
 電話 019(624)6642  
 FAX 019(654)2741

岩手県生活衛生営業指導  
 センターホームページ



## 第37回 岩手県生活衛生大会を開催



令和7年11月10日、盛岡市内にて、岩手県をはじめ関係機関・団体等の御来賓各位並びに県内の生活衛生関係営業者の皆様方、約150名の出席を頂き、第37回岩手県生活衛生大会を開催しました。

第1部基調講演では、『デジタル化と事業承継～老舗旅館「旅館あけぼの」のアナログ脱却大作戦!』と題して、(有)旅館あけぼの 代表取締役 音成亜美氏をお招きし、佐賀県佐賀市の老舗旅館5代目としての実践を踏まえたデジタル化の取組みと事業承継チャレンジについてお話を頂きました。

第2部表彰式では、岩手県知事表彰、岩手県生活衛生同業組合中央会会長表彰の受賞者に表彰状が授与されたほか、全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状の贈呈が行われました。また、受賞者を代表して、すし業組合 高橋剛一氏が謝辞を述べ、大会宣言を飲食業組合 瀬戸樹里氏が朗読しました。

第3部祝賀会では、祝宴の中で、飲食業組合が本年6月24日に盛岡市で開催される「全飲連全国岩手県大会」のPR動画を上映し、全国大会の盛会に向けて協力を呼びかけました。

### 主な内容

第37回岩手県生活衛生大会を開催 …… 1	「生衛組合活性化塾2025 in 岩手」を開催しました … 8
年頭のごあいさつ …… 2	『経営支援セミナー in 気仙』を開催しました … 9
各種表彰受賞者 …… 3	『経営支援セミナー in 盛岡』を開催しました … 9
秋の叙勲受章者 …… 4	後継者育成支援事業「調理体験学習」 …… 10
時の話題 …… 4	指導センターの応援団 …… 10
組合だより …… 5～7	『経営特別相談員研修会』を開催しました … 11
すし業、中華料理、社交飲食業、飲食業、食肉、理容、美容業	岩手セイエイ百貨店『デモンストレーション事業』を開催しました … 12



## 年頭のごあいさつ

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

理事長 菊池 幸郎

あけましておめでとうございます。

各生活衛生同業組合の皆様におかれましては、軽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろより当センターの運営にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

振り返れば、昨年は社会全体が大きな変化の波に直面した一年でありました。私たち生活衛生関係営業を取り巻く環境は、世界的な経済情勢の不安定化や原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇、さらには人材不足や後継者問題など、経営基盤を揺るがす要因が複合的に押し寄せております。加えて、消費者の価値観の多様化、デジタル化の急速な進展など、事業者の皆様には柔軟かつ迅速な対応が求められる年となりました。

こうした状況の中、当センターでは、事業者のニーズに応じた収益改善の一助となるよう各分野での経

営支援に取り組むとともに、地域の生活衛生水準の維持・向上と業界の健全な発展のため各種事業を展開してまいりました。

生活衛生関係営業は、地域に密着した産業として、県民の方々に潤いのある暮らしに必要なサービスを提供しておりますが、様々な課題も抱えています。センターでは、各組合などのご意見も聞きながら、今年も相談指導事業、各種講習会セミナーの開催、後継者育成支援事業等を通じて、生活衛生関係営業の振興に取り組んで参りたいと考えていますので、皆様と関係機関のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

飲食業組合では本年6月に盛岡市内で全国大会が予定されておりますが、こうした活動を通じて、組合組織の更なる充実・活性化が図られていき、併せて、生活衛生関係営業の皆様もこれまで以上に業績が好転していくことを期待いたします。

丙午（ひのえうま）の年は、「勢いとエネルギーに満ちて活動的になる」「情熱と行動力で道を切り開く」年になるとも言われています。

皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますことをお祈りし、年頭の挨拶とさせていただきます。



## 年頭のごあいさつ

岩手県環境生活部長

中里 裕美

令和8年の年頭に当たり、謹んで御挨拶を申し上げます。

生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、日頃から本県の生活衛生行政に多大な御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、燃料費や物価の高騰等による厳しい経営環境が続く中、営業施設の衛生水準の向上、消費者サービスの充実を始めとした、業界の健全な発展に日頃から積極的に取り組まれていることに深く感謝申し上げます。

さて、近年、人口減少や少子高齢化による働き手不足により、生産性やサービスをいかに維持し向上させていくかということが一層重要となっております。

政府が令和7年11月21日に閣議決定した「強い経済」を実現する総合経済対策」によると、生活関連サービス業を含む、人手不足感の強い12業種を中心に、「省力化投資促進プラン」に基づく支援策の

充実を図りつつ、プラン及び施策の周知広報や優良事例の横展開を進めるとともに、支援機関の体制強化を行うことにより、生産性の向上を目指すこととされたところで。

生活衛生関係営業に携わる皆様におかれましては、従前から、社会情勢の変化に応じて、講習会等による若手や後継者の育成、デジタル化による業務の効率化などに取り組んでいただいているところでありますが、こうした国の動きも踏まえつつ、引き続き、持続的で安全・安心なサービスの提供に向け、各種取組を推進いただければ幸いです。

県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランに基づき、食の安全・安心の確保や、生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持・向上に向け、様々な取組を進めているところで。こうした取組の推進に当たっては、生活衛生関係事業者の皆様との緊密な連携が大変重要であることから、より一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、生活衛生関係営業の御発展を心から祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和7年度各表彰受賞者の皆様  
**栄えある受賞おめでとうございます**

令和7年度生活衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰と全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰において、下記の皆様が受賞されました。

◎厚生労働大臣表彰受賞者



すし業  
副理事長  
栗畑 清継 氏  
(盛岡市)



理容  
元理事  
高橋 克裕 氏  
(金ヶ崎町)



クリーニング  
副理事長  
平野 雅彦 氏  
(花巻市)

◎全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰受賞者



すし業  
理事長  
高橋 剛一 氏  
(盛岡市)



社交飲食業  
理事長  
瀬戸 美栄子 氏  
(盛岡市)



クリーニング  
理事  
高橋 一弘 氏  
(紫波町)

◎岩手県知事表彰（生活衛生功労者並びに生活衛生優良施設）受賞者

（生活衛生功労者（団体役員））

- ①すし業 高橋 剛一（盛岡市）      ②中華料理 高橋 龍也（紫波町）      ③社交飲食業 小林 昭仁（北上市）
- ④飲食業 葛 勇樹（盛岡市）      ⑤理容 生内 敬（宮古市）      ⑥理容 佐藤 淳一（一関市）
- ⑦美容業 及川マツ江（奥州市）      ⑧クリーニング 藤原 順一（盛岡市）

（生活衛生優良施設）

- ①さいとう理容 齋藤 智宏（北上市）      ②宍富士クリーニングセンター 菊池 恭啓（釜石市）
- ③ヘアショップ ツキダテ 槻館 一信（二戸市）      ④ムツ美容室 橋場 栄子（滝沢市）

◎岩手県生活衛生同業組合中央会長表彰受賞者

- ①中華料理 及川 繁（釜石市）      ②飲食業 古舘 興司（山田町）      ③飲食業 瀬戸 樹里（盛岡市）
- ④理容 高橋 健（北上市）      ⑤理容 小野寺都女（北上市）      ⑥理容 照井 統道（花巻市）
- ⑦美容業 芳賀亜矢子（大槌町）      ⑧クリーニング 赤坂 敏行（葛巻町）

◎全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状

- ①美容業 長坂 育子（八幡平市）



食肉組合 小井田 幸一 前理事長

旭日双光章 受章おめでとうございます

この度、令和7年秋の叙勲に際し、はからずも旭日双光章の栄に浴することができました。これもひとえに、組合員の皆様のご協力やご支援、先輩諸氏のご指導、家族の理解と協力の賜物と心より感謝申し上げます。

去る11月5日 盛岡グランドホテルに於いて達増知事より勲章を拝受いたしました。受章に際し、県内外の組合関係者のみなさまから、あたたかい労いとお祝いの言葉を賜り、身に余る光栄に感激しました。

今後も岩手県食肉生活衛生同業組合ならびに岩手の生活衛生業の更なる発展に向けて努力してまいりたいと思います。

一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 時の話題

敬老バスを使った研修会  
～今後の行方は～

(一社)岩手県獣医師会 理事

白岩 利恵子

この原稿を書いている1か月くらい前でしてでしょうか。地元の新聞一面に「盛岡市の事業見直し」が大きく掲載されました。123の事業が見直し、検討に入るとのこと、その数にびっくりしたところでした。例えば、北上川ボート下り、俳句大会など観光関連やおもてなしに関するところが多いなあと感じましたが、中には敬老バス運行業務委託や地区老人スポーツ大会の補助など高齢者に関わる事業を対象とした見直しも多くありました。負担金を出さない、もしくは縮小するという内容で、なんかいろいろ楽しみたいのに、自己負担が多くなるなあ、と感じたところでした。

先日、町内会の老人クラブ(60歳以上の有志の会ですが・・・)で研修旅行があり、私も参加しました。今までは、ずっと行けなかったのですが、近所の方に誘われて、初めて参加しました。

当日集合場所に行くと、見かけない顔の女性が会長と話していました。誰だろう?と腕章を見たら、地元新聞の記者さんでした。事業仕分けの対象となった「敬老バス」の現状などを取材に来たそうです。(後日新聞に掲載されました)

● 私の町内会では、年に2回の研修旅行を開催して、今回は参加者一人3,000円の自己負担でしたが、盛岡市玉山にある石川啄木記念館を見学したり、歌碑で記念撮影をして、ユートランド姫神に行きました。ここではみんなで温泉に入ったり、宴会料理を堪能しながら、カラオケを歌ったりして楽しみました。あっという間に帰る時間となりました。普段、仕事をしていることを理由に町内会の行事には参加していませんでしたが、バスの中でも、「いいんだ、いいんだ、やめたら一緒にやろう」とか「あなたのお母さん、元気?」などとたくさんの町内の方々に声をかけられ、励まされたりしました。この町内会に来て(昭和60年から転居)良かったとつくづく感じました。また、足の不自由な方も近所の女性から誘われて参加した、ということで、普段は閉じこもっている高齢の方も喜んでいました。このような良い事業である「敬老バス」が自己負担増大で、もしもなくなるのであれば、それは町内会にとって、とても残念なことだと思います。

● 高齢化率が高い、そして今後も高くなっていく岩手県ですが、盛岡も同じだと思います。地域を支えてきた高齢者の活動は、本当にボランティア活動の一環であり、今の地域は高齢者の活動なしでは存在できなかったかもしれません。

● これからも盛岡市が発展して、子どもから高齢者までいきいきと暮らせる事業の見直しを期待します。

# 組合だより



## 北海道・東北地区限定 すし券発行

令和7年12月1日より岩手県すし組合が主幹となり、『北海道・東北地区限定すし券1,000円券』の発行が始まります。

従来の500円券は今年12月31日で発売が終了いたします。

1,000円券発行にあたり北海道・東北の7県ですし券のデザインを検討し、またポスターのデザインの決定等、なかなかスムーズに会議が進まない点もありましたが、なんとか11月5日には組合員向けの「スタートアップキャンペーン」の説明会が終了し発売に向けて動いております。

今後は新しくなったすし券でお客様にご満足いただけるよう、組合員一同で努力したいと思います。



## 第56回全国中華料理業 埼玉大会 以食伝愛～食を以て愛を伝える～ 盛会に開催される

全国中華料理生活衛生同業組合連合会が主催する「第56回全国中華料理業埼玉大会」が、11月5

日埼玉県さいたま市のパレスホテル大宮で開催され、全国から組合員が参集、岩手県からは9名が参加しました。

大会式典は全中連旗の入場から始まり、岩手県は菊地清副理事長が旗手を務めました。大会実行委員長の埼玉県組合理事長からはスローガンが提唱され会場からは大きな拍手がおくられました。全中連会長による所信表明、続いて各表彰式が行われ、岩手県からは菊地副理事長と及川常務理事が表彰されました。料理コンテストには岩手県からは残念ながら入賞者はありませんでしたが、来年は入賞目指して頑張りたいと思います。

和洋折衷の料理を堪能し美味しいお酒を飲みながら、他県と業界発展についての意見交換もなされるなど参加者は充実した時間を過ごすことができました。

来年は兵庫県神戸市で開催されます。ぜひこの記事を読んでいるあなたも一緒に参加しませんか？一緒に中華料理組合を盛り上げましょう！



## ある夜の話

先日、知人と飲んだ席でこんな話を聞いた。東京で連れて行かれたスナックで、初めは乗り気ではなかったが、ママとのお喋りに笑い、知らない人のカラオケでしみじみしたり、盛り上がったたり、自分も歌い最後はとても楽しい夜だっ

たそうだ。

さて、今年度の社交組合の1番の明るい話題といえば、カラオケ大会で全国3位になったことだ。各支部で予選会から行い、花巻支部推薦の高橋さんが岩手の代表となり、東北代表となった。博多の全国大会では総出で応援し、他県のテーブルでも大いに盛り上がったのはとても感動したし、何より地元のスナックのいつものお客さんが参加できる大会になったことが、本当によかった。

予選会では、各支部選出の10名が集い、20代から60代までが揃った。これがカラオケの良さであり、各スナック代表の出場者同士が、それぞれの歌の上手さに感銘を受け、讚えあっていたのが印象的だった。胸が熱くなった。スナックでいつも歌っている人たちのカラオケ大会である。

岩手の夜、いつものスナックがある。この秋は熊の話で持ちきりだった。そしてカラオケで歌う。人には人生がある、とは酔いどれ客には言い過ぎでも、歌う顔には何かはある。歌は世に連れ、世は歌に連れ。ちなみに東京のスナックのママは90歳とのこと。スナックって日本の文化だよな?と知人は言った。



### 第63回全飲連全国岩手県大会を令和8年6月に盛岡で開催します。

11月26日～27日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて、「令和7年度全飲連事務局長会議」が開催されました。

この会議は、来年令和8年6月に盛岡にて「第63回全飲連全国岩手県大会」を行うための各県事務局向け事前説明会として行われ、全国から52名の方々がご参加いただきました。

会議では、全国岩手県大会の開催要項を説明し、大会概要や参加申込方法をご理解いただいた後、会場となる盛岡市民文化ホール、ホテルメトロポリタン盛岡本館とニューウイングの宴会場をご覧いただきました。

そこから一行はバス乗車し、2025年にニューヨークタイムズで世界で行くべき都市の2番目に紹介

された盛岡市の街中の様子や雄大な北上川と岩手山などを眺めながら、懇親会を行うために一路大船渡に移動し、大船渡温泉にて同館自慢の漁師めし、三陸の海の幸いっぱい夕食でおもてなしを受けました。

翌朝は、温泉宿・ホテル総選挙絶景部門5連覇を達成したばかり大船渡温泉自慢の絶景である太平洋の水平線から昇る日の出を堪能し、陸前高田市の東日本大震災津波伝承館および震災遺構を語り部のガイドで周回し、東日本大震災からの復興の様子をご確認いただきました。

今回参加した方の3/4ぐらいが、「岩手県に初めて来た!」ということで、盛岡の風景と三陸の海の幸、そして東日本大震災からの復興の様子を見ていただき、長距離移動にも拘らず大変な満足感を得て帰路に着く参加者を見て、来年の全国大会が成功に終わることを確信いたしました。

来年には約1500人の来訪者が盛岡に集結しますので、生衛業事業者の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



### お肉の食べ比べ体験交流会

毎年開催しているお肉の食べ比べ体験交流会。(株)いわちくの工場見学と紫波町で岩手しわもちもち牛を生産している(株)畠山畜産を視察しました。

(株)いわちくの工場では、牛一頭を解体する作業を見学させていただき、牛の皮をはがす工程等を見ることができました。普段見ることのできない場所からの工場見学に参加者のみなさんは興味津々で作業を見入っていました。県食肉衛生検査所所長、(株)いわちくの方々からHACCPや徹底した衛生管理の中で牛や豚を食肉に加工するまでを説明していただきました。昼食は、(株)いわちくで牛・豚食べ比べバーベキューを楽しみました。

(株)畠山畜産は共進会等で優秀な成績を収められている畜産農家さんです、とても人懐っこい牛がたくさんで、参加者のみなさんに喜んでいただく事ができました。最後は紫波町日詰にあ

る松本精肉店さんでお買い物、惣菜の種類もたくさんあり、岩手しわもちもち牛も特価にて販売していただき、感謝の声を多くいただけて嬉しく思います。



## 令和6年度補正予算生衛関係営業対策事業『儲かる業づくり』

### 大人のENSOKU（筋力アップとストレッチの方法・習得のセミナー）in平泉

令和7年10月27日（月）平泉町において、令和6年度補正予算生衛関係営業対策事業「儲かる業づくり」大人のENSOKU（遠足）、筋力アップとストレッチの方法・習得のセミナーが開催された。

当日は、平泉町学習交流施設エピカに組合員86名が集合。出発前に、怪我防止の為に準備体操を行い、2グループに分かれてそれぞれガイドの先導で遠足がスタートした。

約1時間半の道のりを各所で説明を聞きながら中尊寺を目指して歩き続け、到着後は金色堂を背景に参加者全員で記念撮影。自由時間には各々、散策や写真撮影等で楽しみ、昼食場所では美味しい、つみれ汁とおにぎりが振る舞われた。紅葉も綺麗で、この遠足をきっかけに初めて世界遺産・中尊寺金色堂を訪れた方もおられ、参加者同士の親睦を深める有意義なイベントとなった。

最後に本イベントの準備・運営にご尽力いただきました一関支部の皆様、心より感謝申し上げます。



## 全国大会福島で開催

令和7年10月7日（火）第53回全国美容技術選手権大会が福島市で開催され、岩手からは7名の選手を送り込むこととなりました。そして花嫁化粧着付競技で田代陵子さん（宮古・あとり絵美容室）が金賞1位（準優勝）、ネイルアート競技で蒲生和佳さん（花巻・ペルルポルト by Nagomizm）が3位入賞という好成績を収めることが出来たのです。

これは平成18年の花嫁化粧着付競技日本大賞（最高賞）を受賞した栃丸保子さん以来の快挙と言えます。

ちなみにこの大会は、美容業界の甲子園といっても過言ではない大会なのです。

今回受賞した田代さんは、去年は表彰台までもう一步と言うところまで来ており、臥薪嘗胆（がしんしょうたん）の末、表彰台に上がることが出来ました。

蒲生さんは、ネイル作品出場オファーを快諾していただき受賞となりました。無理を強いたので、と少し後ろ暗い気持ちが秋空のように晴れ上がりました。

そして、ほかの3競技に出場した選手の中には、お店ぐるみでチームのように大会に臨んだ選手もあり、大健闘し、記憶に残る大会となりました。

受賞したお二人には惜しめない贅辞を送ると共に、出場した選手皆に心からの拍手を送りたいと思います。

感動をありがとうございました。



# 「生衛組合活性化塾2025 in 岩手」を開催しました

岩手県生活衛生営業指導センターでは、「超高齢社会における生衛業の役割」と題し、パネルディスカッション方式による研修会を開催しました。概要は次のとおりです。

令和7年9月4日(木)、於：岩手県美容会館 **参加者60名** (会場39名、オンライン21名)。

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
状況報告：岩手セイエイ百貨店の取組みについて	15	佐々木 浩明	岩手県生活衛生営業指導センター事務局次長
パネルディスカッション	70	田中 秀明 白岩 利恵子 加藤 友江 千葉 貴大 小野寺 宏行	全国生活衛生営業指導センター事業振興部長 元岩手県 県民くらしの安全課総括課長 一関市社会福祉協議会地域福祉課 (千厩支部) 一関市社会福祉協議会千厩支部 岩手県理容組合常任理事、東磐井支部長

## 岩手県における 岩手セイエイ百貨店の取組みについて ～生衛組合地区連絡協議会、市町村等との協力・連携～



岩手セイエイ百貨店  
デモンストレーション事業 in 一関  
デモンストレーション事業：2024年(令和6年)10月21日、岩手県一関市

2025年(令和7年)9月4日(木)  
(公財)岩手県生活衛生営業指導センター  
事務局次長 佐々木 浩明

## 岩手セイエイ百貨店とは？

生衛法に基づいて設立された生活衛生同業組合の加盟店が実施いたします。  
○安全・安心なサービス、○信頼できるサービス、○思いやりのあるサービス  
超高齢化社会で、高齢者の皆様が安心して「潤いある」生活を送るためには、地域に密着した生活衛生サービスを身近に好きな時に受けられる社会づくりが必要と考えます。生活衛生サービスの『プロの技』が、まるで、百貨店のように並んでいることから『岩手セイエイ百貨店』と名付けて、展開しています！



令和7年度  
衛生水準の確保・向上推進会議

生衛組合活性化塾 2025  
in 岩手

【第1ラウンド】  
「一関市東磐井地区の取組みについて」  
～それぞれ立場から考える～

【第2ラウンド】  
「行政や社会福祉協議会との協力・連携  
について、どう進めるか」



# 『経営支援セミナーin気仙』を開催しました

令和7年8月21日(木)、盛岡市。生衛事業者等24名

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
データの利活用とAIを用いた事例と成果	60	青淵 正幸	立教大学経営学部 教授
三陸さんぽを楽しむ ～加盟店の利用実績とデータ分析～	60	志田 繕隆	一般社団法人大船渡地域戦略理事長
専門家による無料個別相談会	60	高橋 晃	岩手県生活衛生営業指導センター専門家



青淵教授



志田理事長



高橋専門家

# 『経営支援セミナーin盛岡』を開催しました

令和7年11月10日(月)、盛岡市。生衛事業者等150名

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
デジタル化と事業承継 ～老舗旅館「旅館あけぼの」のアナログ脱却大作戦!～	60	音成 亜美	旅館あけぼのの代表取締役
専門家による無料個別相談会	60	桐田 武	岩手県生活衛生営業指導センター専門家



音成亜美氏



桐田専門家



## 後継者育成支援事業「調理体験学習」

若年者の生衛業への関心を高め後継者の確保育成を図ることを目的として、令和7年11月7日、飲食業組合大船渡支部（千葉武継支部長）10名が講師となり、大船渡市立大船渡中学校において、3学年生徒65名が、地域特産の末崎産わかめを使ったチジミの調理体験学習を行いました。

特産わかめの養殖や調理の体験などを授業に取り入れてきた末崎中学校が昨年3月に閉校したことから、伝統を絶やさぬよう、統合先の大船渡中学校に調理体験学習が引継がれました。

生徒たちは「こうやって地域の人と一緒に、わかめを使った料理が出来るととても嬉しい」と完成した料理を味わいながら理解を深めていました。

また、同組合から大船渡市林野火災の避難所で炊き出しを行った当時と同じ汁物も振舞われ、「災害の時に食べた味を感じられて心が温まる」と笑顔が広がっていました。



## 指導センターの応援団

(公財) 岩手県生活衛生営業指導センターの賛助会員の方々をご紹介します

岩手県酒造組合

小松総合印刷 株式会社

一般社団法人岩手県食品衛生協会

株式会社いわちく

株式会社 総合広告社

タカラベルモント 株式会社

有限会社 ジロー印刷企画

株式会社 Fair Sports Morioka A.T

有限会社 アイエスサプライ

株式会社ミツウロコヴェッセル東北

# 『経営特別相談員研修会』を開催しました

令和7年11月10日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、経営特別相談員研修会を開催。44名の経営特別相談員が受講。

今後、各地域において生衛業の皆様への相談対応等、ご活躍いただくこととしております。

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
指導センター業務と特相制度、生衛法と生衛組合の役割、デジタル化推進等について	30	海上 博	岩手県生活衛生営業指導センター専務理事兼事務局長
生衛業の税務について	60	丹代 一志	昆税理士法人代表社員 所長 税理士
公庫融資、衛経の有効活用等について	30	原田 雅也	日本政策金融公庫盛岡支店 国民生活事業 融資第二課長
経営特別相談員活動報告～大船渡山林火災での炊出支援と情報発信～	30	佐藤 圭二	経営特別相談員、地域デジタル相談員
生衛業の生産性向上、価格転嫁等に向けた取組みの必要性や今後の展開等について	60	山口 己智一	厚生労働省健康・生活衛生局生活衛生課 経営環境専門官
地域包括ケアシステムの取組み、地域防災力向上等について	20	佐々木 浩明	岩手県生活衛生営業指導センター事務局次長



1 時限目：指導センター専務



2 時限目：丹代税理士



3 時限目：公庫原田課長



4 時限目：佐藤圭二特相員



5 時限目：厚生労働省山口専門官



2 行政との災害支援協定について

2025年(令和7年)11月10日(月)  
(公財)岩手県生活衛生営業指導センター  
事務局次長 佐々木 浩明

6 時限目：指導センター事務局次長



受講者の皆さん

# 岩手セイエイ百貨店『デモンストレーション事業』を開催しました

**1** 令和7年10月6日(月)、大船渡市三陸町。地域の高齢者25名参加(大船渡市社会福祉協議会協力)



**2** 令和7年10月20日(月)、一関市。地域の高齢者20名参加(一関市社会福祉協議会協力)



**3** 令和7年10月27日(月)、久慈市。地域の高齢者26名参加(久慈市社会福祉協議会協力)



**4** 令和7年11月17日(月)、大槌町。地域の高齢者30名参加(大槌町社会福祉協議会協力)



**5** 令和7年11月21日(金)、普代村。地域の子ども・保護者20名参加(村教育委員会事務局協力)

